

# エコアクション21 環境活動レポート

対象期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日



発行日	承認	検討	作成
	石川 '17. 5. 9	岩下 '17. 4.27	千田 17. 4.20
改定日	承認	検討	作成
	石川 '18. 2.28	岩下 '18. 2.27	千田 18. 2.26

株式会社 三洋電機製作所

## 目次

1.組織概要	.....	2
2.実施体制	.....	3
3.環境方針	.....	4
4.環境目標	.....	5
5.環境活動計画	.....	6
6.実績	.....	7
7.環境活動の取組み結果	.....	8
8.環境関連法規等の遵守状況の確認	.....	9
9.代表者による全体の評価と見直し	.....	10
10.地域清掃活動など	.....	11

## 1.組織概要

①事業所名及び代表者氏名

**株式会社 三洋電機製作所**

**代表取締役 石川 守彦**

②所在地

**愛知県小牧市大字横内字下割子287番地3**

③事業概要

**自動車用部品のプレス加工・溶接・組付**

**およびそれに係る金型・治工具等の製造**

④事業の規模

**敷地面積 6,893㎡**

**延床面積 3,594㎡**

**従業員数 46名(平成29年3月31日現在)**

⑤環境管理責任者及び連絡先

**環境管理責任者 製造部 部長 岩下 雄大**

**担当者 総務課 千田 正和**

**連絡先 電話 0568-72-6261**

**FAX 0568-73-3473**

⑥事業年度

**4月1日～翌3月31日**

⑦対象範囲

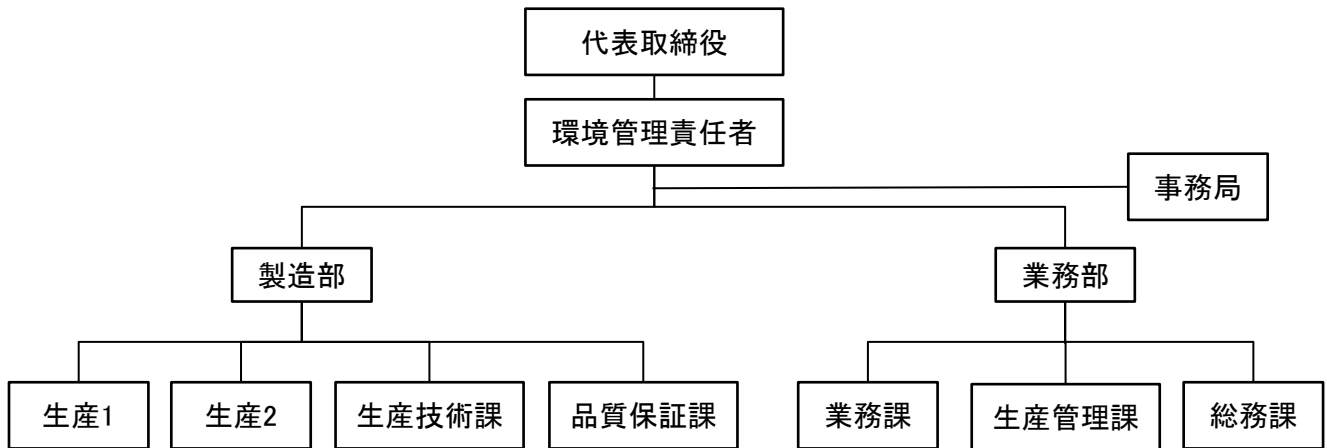
**全組織、全活動**

⑧レポート対象期間

**平成28年4月～平成29年3月**

## 2.実施体制

### ①システムの推進体制



### ②システムの役割と責任

区分	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営に関する統括責任</li> <li>・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源を用意する</li> <li>・ 環境目標及び環境活動計画の承認</li> <li>・ 全体の評価と見直しの実施</li> <li>・ 環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・ 環境化活動レポートの内容の妥当性判断</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境責任者の業務の補佐</li> <li>・ 環境活動の実績集計</li> <li>・ 外部からの問合せ、苦情等の窓口業務</li> <li>・ 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付と地域事務局への送付）</li> </ul>
部長・課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自部署における環境方針の周知</li> <li>・ 自部署の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・ 自部署における環境活動の実施及達成状況の報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・ エコアクション21について決められたことを守り、自主的に積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### 3.環境方針

# 環 境 方 針

## 【基本理念】

当社で働く一人ひとりが、地球環境保全の重要性を確認し、生産活動において、環境に与える負荷を軽減し、より住みよい環境作りを目指し活動する。

## 【活動指針】

1. 国・地方公共団体等の環境法規制を遵守すると共に、自動車用プレス及び自動車用電気部品の生産活動が及ぼす影響を的確に捉えて、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を設定し、継続的な改善・向上に努めます。
2. 環境保全活動の基本は、発生源対策との認識のもと、CO2・廃棄物・水使用量の削減に努め、エネルギーの消費の少ない工場作りに継続的に取り組みます。
3. 当社で使用する事務用品、資材等のグリーン購入を推進します。
4. 環境教育を通して環境保全に関する意識を高め、各生産工程における環境保全は、一人ひとりが自覚と責任を持ち、自主管理の徹底に取り組めます。
5. 地域社会の一員としての自覚を持ち、地域社会における環境保全への活動に積極的に取り組みます。
6. 環境方針は、社内教育・広報活動を通じて全社員へ周知させると共に、社外に対しても公開します。

平成28年1月1日

株式会社 三洋電機製作所

代表取締役 石川 守彦

## 4.環境目標

### 中期目標

項目	単位	実績 平成27年4月～ 平成28年3月	平成28年4月～	平成29年4月～	平成30年4月～	
			平成29年3月 目標 削減率	平成30年3月 目標 削減率	平成31年3月 目標 削減率	
二酸化炭素の 排出量削減	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	421,392 基準	417,178 -1%	412,965 -2%	408,751 -3%
	電力使用量	kWh	812,983 基準	804,853 -1%	796,723 -2%	788,594 -3%
	ガソリン使用量 *1	ℓ	4,657 基準	3,260 -30%	3,213 -31%	3,167 -32%
	軽油使用量 *1	ℓ	2,439 基準	1,708 -30%	1,683 -31%	1,659 -32%
	LPG使用量 *2	kg	48 基準	48 —	48 —	48 —
廃棄物の 排出量削減	一般廃棄物	kg	2,738 基準	2,711 -1%	2,683 -2%	2,656 -3%
	産業廃棄物	kg	3,737 基準	3,700 -1%	3,662 -2%	3,625 -3%
水使用量の削減	上水道使用量	m <sup>3</sup>	1,095 基準	1,084 -1%	1,073 -2%	1,062 -3%
化学物質使用量の 適正管理	化学物質使用量 *2	kg	39 基準	39 —	39 —	39 —
グリーン購入	事務用品の グリーン購入 (品目数)	%	22% 基準	23% +1%	24% +2%	25% +3%
不良廃却品の 低減	工程内不良率	%	データなし 基準	現状把握	現状把握後設定	現状把握後設定
地域社会活動	地域清掃活動	回	実績なし	会社前歩道 週1回	会社前歩道 週1回	会社前歩道 週1回
				会社周辺側溝 年2回 (4月・12月)	会社周辺側溝 年2回 (4月・12月)	会社周辺側溝 年2回 (4月・12月)

・二酸化炭素排出係数は、中部電力平成26年度 0.497kg-CO2/kWhを使用しました。

\*1: 集計車両の台数と使用頻度の減少が確実なので削減率は他の項目に比べ、高い数値を設定した。

\*2: LPG及び化学物質は、使用量が少ないため削減目標を設定しないが使用量の管理を行う。

## 5.環境活動計画

\* 環境目標を達成するために、次の活動計画に取り組めます

環境目標		活動内容	担当部署
二酸化炭素の 排出量削減	電力使用量	エアコンの設定温度管理	全部署
		不使用、不在時のエアコン、 照明のスイッチOFF	全部署
		不使用設備のメイン電源OFF	全部署
		電気使用量の監視・確認	総務課
	ガソリン使用量 軽油使用量	社用車エコドライブの励行 社用車アイドリングストップ	全部署
廃棄物の 排出量削減	一般廃棄物	廃棄物の分別徹底	全部署
	産業廃棄物	排出量の監視・確認	総務課
水使用量の削減	上水道使用量	節水意識向上	全部署
		上水道使用量の監視・確認	総務課
化学物質使用量の 適正管理	化学物質使用量	購入量及び使用量の監視	総務課
グリーン購入	事務用品	グリーンマーク商品を積極的に購入	総務課
プレス工程の銅パー の不良廃却の低減	工程内不良率	工程内不良を減らす	製造課
地域社会活動	地域清掃活動	歩道 ・・ 毎週月曜日の朝、実施する	全部署
	・会社前歩道 ・会社周辺側溝	側溝 ・・ 年2回、長期連休前(4月・12月) に実施する	

## 6.実績

項目	単位	基準	平成28年4月～		達成率	評価	
		平成27年4月～ 平成28年3月	目標	平成29年3月 実績			
二酸化炭素の 排出量	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	421,392	417,178	416,672.0	100.1%	○
	電力使用量	kWh	812,983	804,853	822,388.0	97.9%	△
	ガソリン使用量	ℓ	4,657	3,259.8	2,132.0	152.9%	○
	軽油使用量	ℓ	2,439	1,706.9	1,095.8	155.8%	○
	LPG使用量の 適正管理	kg	48.0	48.0	40.0	—	—
廃棄物の 排出量	一般廃棄物	kg	2,738.0	2,710.6	3,170.0	85.5%	×
	産業廃棄物	kg	3,737.0	3,699.6	2,470.0	149.8%	○
総排水量	上水道使用量	m <sup>3</sup>	1,095.0	1,084.1	1,009.0	107.4%	○
化学物質使用	化学物質使用量の 適正管理	kg	39.0	39.0	31.2	—	—
グリーン購入	事務用品	%	22.0	23.0	24.9	108.3%	○
プレス工程の銅バー の不良廃却の削減	不良率	%	データなし	データ把握	0.73	—	—
地域社会活動	会社前 歩道清掃	回	実施なし	47	43	91.5%	△
	会社周辺 側溝清掃			2	1	50.0%	×

評価基準 達成率が100%以上:○ 90~100%未満:△ 90%未満:×



## 7.環境活動の取組結果

項 目		達成状況	環境活動計画実施状況 達成・未達成の要因	今後の環境活動 計画への取組
二酸化炭素の 排出量削減	二酸化炭素 排出量	達成	自動車燃料の使用量が大きく 減ったため達成できた	省エネ活動の周知徹底
	電力使用量	未達成	9月まではまずまずの実績値 だったが、10月から生産数の増 加に伴い、使用量も増え、未達 成となった。	・空調温度の適正管理徹底 ・夏季におけるコンプレッサーの 効率の良い稼働方法の構築
	ガソリン使用量	達成	エコ活動以外の要因(対象車両 の減少など)が大きいと思われ る	エコ運転を浸透させる
	軽油使用量	達成	エコ活動以外の要因(使用頻度 の減少など)が大きいと思われ る	エコ運転を浸透させる
	LPG使用量の 適正管理	—	適正管理ができた	使用量のチェックを継続
廃棄物の 排出量削減	一般廃棄物	未達成	分別が不十分だった	分別の浸透を図る
	産業廃棄物	達成	埋立ゴミの分別を定期的に 確認し、金属類は有価物にし た	活動を継続する
水使用量の削減	上水道使用量	達成	節水意識の浸透	節水活動の継続
化学物質使用量 の適正管理	化学物質使用 量	—	適正管理ができた	購入量のチェックを継続
グリーン購入	事務用品の グリーン購入	達成	エコマークの確認意識が 向上した	活動を継続する
プレス工程の 銅バーの不良廃 却の低減	工程内不良	—	現状把握ができた  工程内不良数/生産数 =0.73%	ISO9001の品質目標と関連付けて 活動する
地域清掃活動	会社前の歩道 清掃	未達成	天候などの影響で変更した場合 は カウントしなかった	活動は十分できているので 今後も継続する
	会社周辺の 側溝清掃	未達成	1回目(4月)のときは、ゴミが なかったため実施しなかった。	実施時期の見直しを検討

## 8.環境関連法規等の遵守状況の確認

### ①適用となる環境法規等

適用法令など	該当施設設備など	法規の要求事項	評価結果
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に 関する法律)	産業廃棄物	廃棄物の適正分別と保管場所の 確保	○
		産業廃棄物の適正処理 (収集運搬、処理業者への委託)	○
		マニフェストの交付と期間内処理の 確認	○
		マニフェスト交付状況の知事への 年度報告	○
騒音規制法	・動力プレス機械 ・コンプレッサー	特定施設の設置・使用届出 規制基準の遵守	○
振動規制法	動力プレス機械	特定施設の設置・使用届出 規制基準の遵守	○
浄化槽法	浄化槽	保守点検基準の遵守 清掃基準の遵守	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン	定期的な確認 フロンの適正処理	○
消防法	消防用設備 少量危険物保管施設	危険物取扱、施設点検の遵守	○
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫、 洗濯機	使用済特定家電の引取業者への 適正な引渡	○
小型家電リサイクル法	パソコン、モニター、デジタルカメラ、 計算機、プリンターなど	使用済小型家電の引取業者への 適正な引渡	○
国等による環境物品等の調達 の推進等に関する法律 (グリーン購入法)	購入品	できる限り環境物品などを選択する よう努力する	○
使用済自動車の再資源化等に 関する法律	自動車の廃棄	使用済自動車の引き渡し義務	○
県民の生活環境の保全等に関 する条例	駐停車時の自動車	アイドリングストップの励行	○
県民の生活環境の保全等に関 する条例施行規則	圧縮機 0.75Kw以上	設置時届出	○
特定工場における公害防止組 織の整備に関する法律	公害防止組織の整備	公害防止統括者、公害防止管理者 の選任、届出	○
自動車から排出される窒素酸化 物及び粒子状物質の特定地域 における総量の削減等に関する 特別措置法(自動車Nox・PM法)	社用車・トラック	自動車排出窒素酸化物等の 排出抑制に努める	○

### ②違反、訴訟等の有無

過去3年間、当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者などからの  
訴訟はありませんでした。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し

### ①実施事項の報告と評価・指示事項

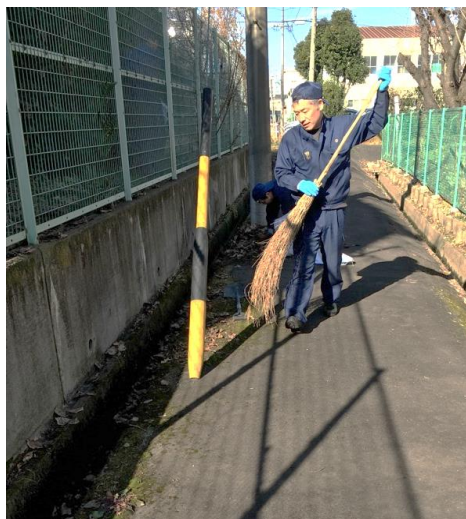
	項目	報告事項	代表者の評価及び指示事項
1	当社の環境活動計画の実施及び運用状況	一部の項目は目標を達成できませんでした が、活動初年度としては十分な成果が得られたと思います。  従業員の環境意識は高いと判断できましたので、維持を図りたいと思います。	活動により、従業員の環境意識があがったと思われます。更なる意識改革できるような仕組みづくりを目指し、活動を推進すること
2	環境目標の達成状況 (短期・中期)	「電気使用量の削減」と「一般廃棄物(可燃ゴミ)の削減」項目が未達成、その他の項目は達成できた  受注状況等から生産数増加が想定されるので、計画の一部見直しを行います。	電力は、設備機械での改善には限界があるので、ポスターの掲示や朝礼、会議体などで呼びかけるなどの活動を図ること  廃棄物に関しても、分別リストなどで周知すること
3	法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項の遵守	環境関連法規制などの遵守状況の評価結果、環境関連法規制などは遵守されていきました。	環境関連法規制などは最新版管理を維持すること
4	苦情を含む外部からのコミュニケーション	顧客、地域住民からの苦情などはありませんでした。	現状を維持すること
5	是正処置及び予防処置の状況	是正及び予防処置が必要な事案は確認されませんでした。	なぜ、なぜ、なぜを繰り返し原因を追究できるようにすること
6	代表者の前回の指示事項に対する対応状況	電気使用量・ 生産数増加のため、削減には至りませんでした。  その他の項目の更なる削減・ 一般廃棄物(可燃ゴミ)以外は十分な成果が得られたので活動を継続したいと思います。	上記2項で記述通り、いかに周知するかを工夫しながら活動に取り組むこと

### ②評価と変更の必要性

	変更の必要性
環境方針	特に変更しません。
環境目標・環境活動計画	上記、同上
環境経営システム	上記、同上

## 10. 地域清掃活動等

①2016年12月の大掃除の際、会社周辺の側溝を清掃しました。



②2016年11月14日、油保管庫からの漏洩を想定し、拡散防止訓練を実施しました。

